

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

六月三日(水)・四日(木)

午前九時半・午後二時より

永代祠堂経法要

※ 昼食にお齋を用意しております



今号の法語



当たり前が

当たり前でなくなる

世の中は

おそろしい



内容

- ・ 第二回初参式が勤まりました
- ・ 獅子舞の歴史を学びました
- ・ 念仏奉仕団募集！(行き先を変更しました)
- ・ 仏事のQ&A (朝食はパンなのですが・・・)
- ・ 広濟寺仏教婦人の集いが開かれました

「当たり前」なことって何でしょう？

簡単なようですが、いざ考えてみると、なかなか思い浮かびません。ですが、それもそのはず。何の疑問も抱かないことほど「当たり前」ということなのでしょう。

しかし何かが起こったとき、私たちは今までの「当たり前」に気づきます。それは大地震であったり、もしかすると戦争であったりするかもしれません。

普段は気づくことのない「当たり前」も、過去の歴史を振り返ると、確実に変わりうるものであることは明白です。

「当たり前」なことでも揺らいでしまう世の中だからこそ、いよいよ変わらない拠り所、精神的支柱が求められます。変わらない所に立つてこそ、物事を見つめていくことができる。

仏教はまさに私たちの拠り所となる教えです。

第二回初参式が勤まりました



五月十七日(日)午前十時半から、広濟寺にて初参式が勤まりました。第二回目となる今回は、六家族二〇名の方々がお参り下さいました。

この初参式は、新たな「いのち」の誕生をよるこび、その心の支えをなつて下さる仏さまに皆でお参りさせていただくという儀式です。

いつもは平均年齢が高めなお寺のお参りも、この日ばかりは一気に若返りました。そして赤ちゃんからお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんといった幅広い年齢層でのお参

五月十七日(日)午前は、大変ありがたく微笑ま

返つていただく縁となつて欲しい。そうしてつづいてほしい。「願いの手紙」は、現在お寺の阿弥陀さまの元でしっかりと将来まで保管させていただきます。

次回の初参式は、二年後を予定しております。是非ご家族そろつてお参り下さい。新たな「いのち」との出会いを大切に……。

子どもたちの元気に走り回る声の中で、今回もまた将来た「願いの手紙」は、現在お寺の阿弥陀さまの元でしっかりと将来まで保管させていただきます。

次回の初参式は、二年後を予定しております。是非ご家族そろつてお参り下さい。新たな「いのち」との出会いを大切に……。



三月十五日(日)午後七時より、石堤の長光寺さんにて五位組歴史講座が開かれました。また特色あるものです。その歴史文化を学んだことで、また新たな視点で獅子舞を見る

獅子舞の歴史を学ぶ 五位組歴史講座

全国に様々ある獅子舞の中でも、富山県西部の獅子舞は歴史文化を学んだことで、また新たな視点で獅子舞を見る

次回は来年三月の予定です。



念仏奉仕団募集中！

く行き先が変更になりましたく

前号にご案内させていただいた五位組念仏奉仕団ですが、行き先が変更になりましたので改めてご案内させていただきます。

日程の六月十七日(水)〜十八日(木)はそのままなのですが、二日目の予定が変わりました。当初訪れる予定でしたサントリー山崎蒸留所が、不定期の工場メンテナンス日と重なってしまったのです。大変残念ですが、同じ山崎方面でお参りさせていただく予定だった西山浄土宗光明寺も、今回は見送らせていただきます。申し訳ありませんでした。

さて、新たな二日目の行き先ですが、京都伏見となりま



した。舟に揺られながら、水の町伏見の酒蔵の風景などを楽しむ予定です。もちろん伏見のお酒も嗜ませていただきます。ましよう。

締め切りですが、まだまだ募集は続けています。是非ご参加下さいね♪

仏事の疑問 Q & A

質問 朝食はパンなんです、

お供えはどうしたらいいですか？

これは皆さん疑問に思っておられることでしょう。

そもそも仏さまにお供えするご飯(お仏飯)は、富山では「おぼくさん」「おぼくさま」と親しまれ、朝炊いたご飯をお供えしてきました。

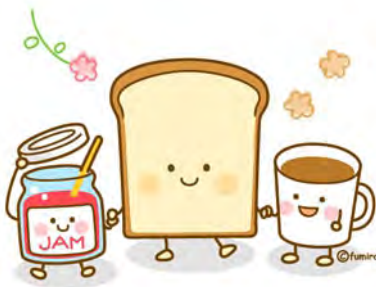
しかし時代は変わり、朝ごはんではなくパン、また若い人ではシリアル、あげく朝食は食べませんという方までおられる時代です。仏さまもビックリの時代に、果たしてお供えする「おぼくさん」はどうすれば



いいのでしょうか？

元来「おぼくさん」は、亡くなられた人の為にはなく、阿弥陀さまを敬う気持ちからお供えするものでした。このお米(主食)をいただくことによつて、命長らえ、尊いみ教えを聞くことができる・・・。

このような思いからお供えする「おぼくさん」。であるならば、お米に限らず、朝に限らず。できるときに仏さまにお供えさせていただくことから始めてみたいものです。



仏教婦人の集いが開かれました

四月十五日(日)午前十時半より、広濟寺にて仏教婦人の集いが開かれました。

午前の部は、国吉・五位地域包括支援センターの職員さん達と共に、体を使った体操・ゲームをしました。

聞いただけでは簡単に思うゲームも、いざ実際に体を動か



しやつてみると、全く簡単ではな
く……。自分の手なのに、思いと
裏腹に全然いうことを聞いてく
れない状況に、我が年齢を疑い
ました。若い職員さん達も間
違っていましたので、どうやら年
齢は関係ないのでしよう(と思
いたいです)。

しかし、一生懸命にやつている
うちに、少しずつですができるよ
うになってきました。慣れもある
のでしようが、このように新しい
ことに挑戦していくことこそが、
きつと体にも頭にもよい刺激と
なったのだらうなと思います。

午後の部は、珉照寺の山岸智
史きゆうしゅうわご住職による法話を聴聞しま
した。「宮商和して自然なり」と、
阿弥陀さまのお浄土の姿につい
てお話し下さいました。

毎年行っているこの仏教婦人の
集い。一日をゆつくりお寺で過
ごしながら、笑いあり気づきあ

りの有意義な時間となっていま
す。来年も是非お誘いあわせの
上ご参加下さいね♪

お知らせ

二〇一五年

永代祠堂経法要

六月三日(水)・四日(木)

午前九時半より

午後二時より

御講師

五位組 教願寺

岡西 法英 師

広濟寺護持委員会

七月五日(日)

午後二時より

※例年より一カ月早めさせ
ていただきました。

広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

編集後記

この度、広濟寺住職が第三十
三回富山風雪賞をいただきました。
富山新聞社による同賞は、
「地の塩」として地域に貢献して
いる方を受賞対象としています。

今回の受賞理由は、《地元の小
学生が夏休みの早朝に読経や
勉強に励む「子ども会」を毎年
実施している。戦前から続く寺
の行事を受け継ぎ、現代の「寺
子屋」として地域住民の無形の
財産となっている。》ということ
でした。

戦前から続くこの活動ですが、
今まで続けてくることができた
のも、笹川地区の方々のご協力
はもちろんのこと、広濟寺門徒
の皆さん方が一生懸命にお寺
を護持してきてくださった賜物
です。

これからも力を合わせこの活
動を続けていきたいと願っていま
す。これからもご支援ご協力の
ほど宜しくお願い致します。